



# 徳成寺

## 寺とかわら版

### 第194号 2023年2月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

昨年末、お葉書を頂きました。「～毎月かわら版を送って

いただきありがとうございます。最近が届くと音読して

います。～」とありました。この広い世界で、かわら版を

音読しておられる方が現れて、逆に私の方が身の引き締まると

言いますか、背筋の伸びる気が致しました。今年でかわら版も、はや

17年目を迎え、また新たな風景が開かれて来たようです。ご縁のあった

先生の励ましの言葉が思い出されます。「お念仏のひろまって下さるのは、

あげて如来のはたらき。それがひろまらぬのはすべて、わたしのせい」

真実と言うならば、それは必ず人に伝わりゆくとも教えられて参りました。

その如来の真実を妨げぬよう、伝えるより伝わる言葉をお届けできればと思います。

—発行責任者—

住職

大山健児

坊守

大山ひとみ



## 大山超世の耳を澄ませば

お世話になっております、副住職です。先月末は、地球温暖化と呼ばれる割に、高松で氷点下を記録する最強寒波が到来してももの凄く寒かったですね。暖かくなりそうなものなのに何故でしょう？調べてみると、ラニーニャ現象が原因ではないかと言われていました。夏頃によく聞くエルニーニョ現象の反対で海水温が低くなる事で外気温が下がるという現象です。何故ラニーニャ現象が起こるかと言うと、偏西風の蛇行が原因ではないかという説があります。そしてその偏西風の蛇行は、地球温暖化により南極や北極の氷が溶け、海水面が高くなったからであると考えられているようです。もっとも、これらはあくまでも仮説です。気象のメカニズムについては未だに分からない事の方が多いからです。風が吹けば桶屋が儲かるという言葉の通り、一見すると相関のない、地球温暖化と寒波の結びつきが強くなるようなこの度の出来事は、目の前の結果が真実の全てではないことを伝えている気がします。表面的な受け取りではなく「何故？」と問いを掘り下げる姿勢を大事にしていきたいと改めて感じました。写真は数年ぶりに凍った手水鉢の様子です。市街地でも水が凍るほど冷たくなる日常が訪れております。体調に用心して暖かくしてお過ごしください。

